

小貝川ポニー牧場を核とした小貝川三次元プロジェクト事業継続に関する請願

紹介議員 赤羽 直一

・請願趣旨

小貝川フラワーカナルから誕生した「小貝川三次元プロジェクト事業」は、「小貝川の自然環境の中で、水・陸・空の三次元を活用し、大人も子供も、高齢者も障害者も、時間と場所を共有し、思いっきり遊び、学び、交流することを通じて、福祉・教育・環境といった分野の事業を展開することにより、人々の相互理解と、生活の質の向上に寄与する事を目的」として、藤代町時代に始まりました。その事業の核となる「小貝川ポニー牧場」はハーモニー運動創始者の理念のもと、長年にわたり取手市および近隣地の多くの子どもたちにとって、貴重な体験と学びの場となってきました。馬のお世話等を通じて、命の尊さや社会性、協調性などを自然に身につけることができるこの場所は、地域の有志によって環境整備されてきた小貝川の優しく豊かな自然環境との相乗効果等により、奇跡的な価値を長年生み出し続けています。特に馬介在活動は心の癒し効果や利用者評価も高く、生きる勇気の原動力、子どもたちの夢を育む拠点ともなっています。実際、この牧場を目的に取手市へ移住されたご家族もある等、地域振興にも大変貢献しています。また、市内で唯一、日常的に自然体験や動物とも触れ合える公共性の高い空間として、次のような重要な役割も果たしています。

・障害のある方へのケア・療育的支援の場・不登校児童・生徒の受け入れと居場所・子育て支援の場・馬に関わる職業を志す子どもたちへの育成の場・保育園や小中学校（職場体験等）の学びの場・高齢者の生きがいや健康増進の場・環境保全や防災学習の場 等々

しかし現在、馬房等の老朽化および当該事業打ち切り案の打診等により、当該事業の現受託事業者は今年度末で受託終了を表明しています。このままでは、子どもや親子の大切な居場所が失われるだけでなく、「小貝川生き生きクラブ」を中心に20年前より醸成される「インクルーシブ」的空間も失われ、地域コミュニティの喪失も危惧されます。

つきましては、以下の事項について真摯に請願致します。

・請願事項

- 1 小貝川ポニー教室で積み重ねてきた「子どもの気持ちを大切に」、明るく・元気に・骨惜しみしない雰囲気を継承するようなポニー牧場の存続を前提に、継続して下さい。
- 2 安全に利用できるよう馬房や関連施設（生き生きクラブ棟等）の修繕を行った上で、の活用をお願いします。
- 3 高齢福祉、教育、不登校支援、障害者ケア、子育て支援といった観点から、本事業の社会的役割について関係者を含めて再評価し、幅広い政策的視点で適正な事業規模及び予算確保・運営をお願いします。
- 4 藤代スポーツセンターと、一体的な施設として見直し、子供から高齢者までの幅広い年齢層の社会教育施設として、再整備の検討をお願いします。

以上、地方自治法第124条の規定により請願いたします。

令和7年8月25日

請願者代表

住所 取手市櫛木 49

氏名 特定非営利活動法人小貝川プロジェクト 21

理事長 井草 雄太郎 ほか66人

取手市議会議長 殿